



みらいっうしん

8月号

2022年8月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦芳子

☆感性を豊かにする体験☆

毎日の猛暑で、熱中症が心配される中、やっとコロナウィルスが落ち着きを見せ始めたかと安堵したのもつかの間、最近では感染症の拡大がささやかれるようになりました。これから夏本番に入りますが、感染症、熱中症、また食中毒にも気を付けて、引き続き、体調管理にお気をつけください。

こども園では、お友達といっしょに楽しく過ごした1学期が終わり、保護者の皆様のご協力のお陰で、無事終業式を迎えられたことを心から感謝いたします。1号認定のお子さんは、夏休みに入りますが、この夏にしかできない体験やお手伝いなどを取り入れて、有意義な日々を過ごして下さい。また、2、3号認定のお子さんにおいても、なるべくお休みの時は、親子の絆を深めるため「家族水入らず」の時間をゆったりと過ごしていただきたいと思います。

さて、7月は、大きな行事が2つありました。その1つは、「七夕コンサート」です。今回は、3年前に1度来ていただいた、「TMB ブラスクインテット」という5人組の方が来ていただき、管弦楽器のトランペット、ホルン、チューバ、トロンボーンの演奏者が集まり、乳児さんとほし組、そら組とにじ組の2つのグループに分かれて演奏を聞きました。メンバーの方全員がとても優しい方達で、特に司会の方は、保護者の方にとっても似ていることから、登場するなり、「パパ！」と声が上がリ、ほのぼのとした雰囲気が始まりました。ミッキーマウスマーチから夏に因んだ曲、トトロや星に願いをなど、美しい音色にうっとりしたり、心が弾んだり、そら組とにじ組の回では、なんと、あの鬼滅の刃シリーズの「紅蓮華」のメロディーが流れ、子ども達は夢の世界に導かれ、手をたたいて大喜びでした。しかし一番盛り上がったのは、こども園の園歌とパプリカで、子ども達の中からは、「ワー知ってる！」「イイね」「楽しい」の声が次々と上がり、曲に合わせて歌ったり、鈴、タンバリン、カスタネットのいずれかをもって鳴らしたりして、大フィーバー、どの子どもも全身で楽しさを表現していました。今回は、クイズや指揮者体験もあり、楽器の豆知識を学び、より一層の興味関心を持つことが出来ました。また、代表の子どもテンポに合わせて演奏者が楽器を奏でる場面は必見で、良い体験になりました。演奏者からは、「みらいこども園の子ども達は、皆感性豊かですね。とっても可愛いです。演奏していてとても楽しかったです。また機会があったら呼んでください。」と反対にお礼をいただきました。もしかしたら、将来、この子ども達の中から音楽家が誕生するかもしれませんね。(笑) 2つ目の行事「なつまつり」は、涼しい風が心地よいという天候にも恵まれ、可愛らしい甚平や浴衣姿のほし組さん、そら組さん、にじ組さんが、親子でお祭りを楽しみました。事前に、ちょうちん作りや太鼓を叩いたり盆踊りをしたりして気分はすでにお祭り気分でしたが、当日は、何のゲームがあるんだろうとワクワクしている様子でした。亀釣り、ボーリング、箱積みゲーム、バスケットボール、太鼓コーナー、製作コーナーと思い思いに参加しました。また、盆踊りにも、子ども達の掛け声が響き、最後まで活気に満ち溢れていました。今回参加できなかった乳児さんにも次の週にお祭りごっこを行い、全員でお祭りの雰囲気を味わいました。このように普段の保育から行事に繋がり、楽しかったことを振りかえりながら、また、遊びが膨らむことは、子ども達の感性や意欲がより豊かになることと思います。多様な体験から豊かな感性を育み、子ども達のこころの動きに共感する重要性を認識し、今後も職員一同、子ども達が、心身ともに成長していけるようこの夏も自己研鑽し、「教育・保育」を学んでいきたいと思ひます。

- ❖ 海や川、プールなどでは、お子さんから目を離さないようにして、水の事故から守りましょう。また、交通事故などあわないよう、十分に気を付けましょう。
- ❖ お休みの日は、親子で夏の季節ならではの体験をしたり、お子さんとゆっくり過ごす時間を持たれたりすると良いと思います。なお、旅行などに行かれる場合は、お子さんに負担がかからないように、ゆとりをもった計画にしましょう。
- ❖ 手洗い、うがい、消毒と体調管理を心掛け、感染症予防に努めましょう。